

2017年 5月 1号

地震大国日本での原発再稼働に反対!



「特権エレベーター」見直しを申入れ

無所属クラブと共産党市議団が細江市長へ廃止を求めて!

岐阜市議会無所属ク(服部勝弘代表)共産党市議団(堀田信夫団長)は4月28日に岐阜市長に対し、市役所新庁舎に建設予定とされている1~5階用のエレベーターについて、計画を見直し廃止することを申し入れました。申入れ文は下記のとおりです。

岐阜市役所新庁舎建設における

「特権エレベーター」計画の見直しを求める申し入れ

岐阜市役所新庁舎建設費については、当初の約200億円と言われていた費用が本年3月議会前に、約254億円に膨らむことが明らかにされました。

東京オリンピックの影響も考えられ、建設費の更なる増大も予測されます。メディアコスモスの事例を見ると、国の建設単価見直しがされた場合の「建設途中での建設費割り増し」も心配されるところです。現在明らかにされている約254億円は、建設費用再増大を予想させる不安定な数字です。

増大する建設費に対し厳しい市民の目がある中で、本年2月24日、中日新聞が報道し、その後各新聞にも相次ぎ報道されたいわゆる「特権エレベーター」については「市長や議員らの安全確保のため」との市説明の報道がありました。

しかし、議員については駐車場からの直接移動も予測され、エレベーター利用度が低下すると思われます。各新聞報道を受けて、エレベーター前の壁は撤去されましたが、解りにくい位置のエレベーターである事に変化はなく「市長専用エレベーター」との謗りを免れません。

市長コメントの「市民乗せないと聞いてない」にも、決裁行為を考えますと無理があります。また、市民が同乗しているエレベーター内でのセキュリティーカードの使用、暗証番号の使用は秘密の意味を成さないものになり、説明になりません。緊急時の、警察、消防出動は「事故現場でのエレベーター使用は避け階段使用に」との指導と矛盾します。したがって、下記のとおり申し入れます。

記

- 1 岐阜市役所新庁舎の1~5階を運行するエレベーターいわゆる「特権エレベーター」計画を見直し、廃止すること。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

無所属クラブ新年度委員会構成決定

4月28日の各派幹事長会議の確認を経て、無所属クラブ総会（28日）で各議員の委員会所属を決定しました。

総務委員会・服部勝弘代表（幹事長会）、経済環境委員会・田中成佳議員（渉外担当・議会運営担当）、厚生委員会・松原のりかず（議会基本条例担当）、建設委員会・高橋和江議員。特別委員会は、総合交通対策特別委員会・服部代表・田中議員、都市活性化対策・松原のりかず、高齢少子化社会対策・高橋議員。正式決定は、議会本会議となります。関係各位には宜しくお願い申し上げます。

東部クリーンセンターの裁判は？

3月議会で 松原のりかず は本会議討論の中で指摘させて頂きました。環境部東部クリーンセンター破砕機火災事故についてです。

事故当初より業者の賠償に関し、心配の質問をして来ました。当初の説明は、荏原環境プラントは、親会社は東証一部上場の会社であり信用出来るとの説明でした。議会では「裁判を想定してメモや録音を取るべきだ」とまで指摘して来ました。

心配したとおり、業者の前言はひるがえされました。高額な復旧費用が発生し、市財政を圧迫する事になります。また、近い将来に新焼却場建設の課題にも迫られています。事故の復旧に約50億円、新焼却場の建設に約150億円以上と膨大な予算が必要となります。事故解決への、市長の指導性を発揮されるべきです。

（3月議会本会議 松原のりかず 討論より）

新庁舎の建設費は約200億円と言われていましたが、3月議会前に約254億円に膨らみました。焼却場関連だけで200億円の支出に迫られようとしている時にです。



松原のりかず
☎058-253-2500